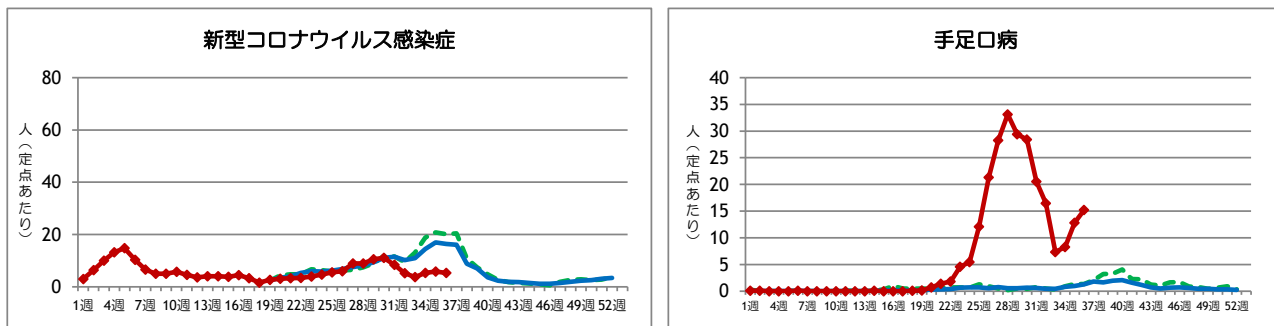


多摩小平保健所 感染症NEWS

注意してほしい感染症

- 新型コロナウイルス感染症の報告数は横ばいです。
- 手足口病は警報レベルが続いています。
- 流水と石鹸による手洗い、咳エチケット等の基本的な感染対策をこころがけましょう。

— 2023年東京都 — — 2023年圏域 — ◆ 2024年圏域 (数値は定点当りの患者数)



保健所からのお知らせ

手足口病に注意しましょう

- 手足口病は、3～5日の潜伏期間の後、口の粘膜・手のひら・足の甲または裏などに水疱性の発疹が現れます。
- ＜感染経路＞患者のせきやくしゃみのしぶきに含まれるウイルスに感染します（飛沫感染）。また、水疱の内容物や便に排出されたウイルスが手などを介し、口や眼などの粘膜に入ると感染します（接触感染、経口感染）。
- ＜感染対策＞こまめな手洗い、咳エチケットが有効です。アルコール消毒は効きにくいので、物品の消毒には次亜塩素酸ナトリウムが有効です。
- ＜注意事項＞回復後も飛沫や鼻汁からは1～2週間、便からは数週～数か月間ウイルスが排出されるため、飛沫や鼻汁・便の取り扱いに注意しましょう。タオルの共有は避けましょう。原因となるウイルスが複数あり、何度でも感染することがあるため、予防が大切です。

基本的な感染対策のポイント

- 様々な種類のウイルス・細菌に対しても手洗いは感染対策の基本となり、重要です。帰宅時や食事前、トイレの後などに手洗いを実施しましょう。

＜手洗いのポイント＞

- 普段から、爪を短く切っておきましょう。時計や指輪を外してから手を洗いましょう。
- 手洗いは30秒以上をかけて、もみ洗い・すすぎを行いましょ。
- 指先・手のしわ・爪の間は洗い残しが多い箇所です。特に注意して洗いましょ。

＜手洗いチェッカーの貸し出し＞

- 多摩小平保健所では、保育園、幼稚園、学校、福祉施設等での健康教育や職員研修で活用できるように手洗いチェッカーの貸し出しを行っています。
- お問い合わせ・お申し込みについては、下記までご連絡ください。

